

## 5 資料（調査票）



大仙市の将来のために  
平成30年度市民による市政評価  
ご協力をお願い

市民の皆さまには、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

大仙市では、『人が生き人が集う夢のある田園交流都市』を将来都市像とし、平成28年度から37年度までの10年間のまちづくりの基本的指針を示したまちづくりの羅針盤として、「第2次大仙市総合計画基本構想」を策定し、まちづくりを推進しています。

この「市民による市政評価」は、市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、市政に対する要望をお聞きするものです。

皆さまからいただいたご回答は、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成30年 6月

大仙市長 老 松 博 行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、市内にお住まいになっている18歳以上の方の中から無作為（性別、年齢、地域については考慮）で1,000人を抽出させていただき、無記名形式で行います。
- ◆ このアンケートは原則として封筒の宛名ご本人がお答えください。やむを得ず、ご本人がお答えできない場合は、ご家族の方（ただし、18歳以上の方）がお答えいただいても結構です。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。

《ご記入の方法》

- ◆ ご回答は、この調査票に直接ご記入ください。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書きください。
- ◆ 回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。あてはまる項目がないときは、「その他（ ）」に具体的な内容をご記入ください。

(例) 5      (4)      3      2      1

(例) 1. 電車	2. バス
3. 自家用車	4. 徒歩
(5) その他( 友人の車での送迎 )	

《回答の返送について》

回答を記入した調査票は、**6月22日（金）まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。（切手は不要です。）

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班

電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119

メール:sougou@city.daisen.akita.jp

## 問1 施策の満足度と重要度について

あなたは、下表の設問項目について、大仙市の現状にどのくらい満足していますか。また、今後、大仙市のまちづくりにとってどのくらい重要であるとお考えですか。

下表の設問項目ごとに、「満足度」と「重要度」についてあなたのお考えに一番近い番号をそれぞれ1つずつ選んで、○印をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

満足度と重要度 設問項目		満足度					重要度										
		5 満足	4 まあ満足	3 いどちらないとも	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 いどちらないとも	2 あまり重要ではない	1 重要ではない						
		〈記入例〉					5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	
Ⅰ 魅力ある産業のまちを創ります！ 産 業 振 興 ・ 雇 用 な ど	①	【農林水産業】 農畜水産物の消費拡大や生産基盤整備などの取り組み・支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【商工業】 魅力ある産業の創出や地場産業への支援及び企業誘致について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【花火産業構想】 さまざまな分野における大曲の花火ブランドの戦略的推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【観光】 豊かな地域資源や交通の利便性を活用した観光振興について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【雇用・就労】 地元の若者やAターン希望者などの就業希望者に対する各種支援について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
Ⅱ みんなの元気を応援します！ 出 会 い ・ 結 婚 ・ 子 育 て ・ 健 康 ・ 福 祉 な ど	①	【出会い・結婚】 出会い・結婚の促進に向けた取り組みについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	【子育て】 安心して子育てできる社会環境の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	【保健・医療】 健康増進にすすんで取り組める環境や医療体制について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	【社会福祉】 母子福祉、父子福祉、障がい者福祉、高齢者福祉などの充実について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	【社会保障】 国民健康保険、生活保護制度等の適正な実施について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	【スポーツ】 スポーツ機会の充実やスポーツを通じた地域のにぎわい創出、交流人口の拡大について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

設問項目		満足度					重要度					
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらとも いえない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらとも いえない	2 あまり重要 ではない	1 重要ではない	
Ⅲ 住みよいまちを築きます！ 安全・安心、都市整備など	①	<b>【自然・衛生環境】</b> 緑豊かな自然環境の保全と環境にやさしいまちづくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	<b>【安全・安心体制】</b> 消防・防災体制や雪対策の強化について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	<b>【空き家対策】</b> 空き家の適正管理と利活用の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	<b>【公共交通】</b> 長寿社会に対応した公共交通の確保について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤	<b>【地域情報化】</b> 情報基盤の整備と地域の情報発信の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑥	<b>【市街地】</b> 既存市街地を中心としたコンパクトな市街地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑦	<b>【交通インフラ】</b> 利便性の高い幹線道路と生活を支える道路の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑧	<b>【上・下水道】</b> 快適な暮らしの基盤となる上・下水道等の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑨	<b>【住環境】</b> 市営住宅や宅地、公園、緑地の整備について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
		満足度					重要度					
Ⅳ 豊かな心と想像力を育みます！ 教育、生涯学習、芸術・文化など	①	<b>【学校教育】</b> 学習意欲と能力を養う学校教育の充実について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	②	<b>【生涯学習】</b> 多様な学習機会から生涯を通じて学び、活かせる暮らしについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③	<b>【芸術・文化】</b> 芸術、文化活動、文化財に触れる機会の創出について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④	<b>【地域間・国際交流】</b> 地域間ネットワークの強化や国際化の推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

(つづき)

満足度と重要度		満足度					重要度				
		5 満足	4 まあ満足	3 どちらでもない	2 やや不満	1 不満	5 重要	4 やや重要	3 どちらでもない	2 あまり重要ではない	1 重要ではない
設問項目											
V 時代に合った地域を創ります！ 市民との協働、行政運営など	① 【地域活性化】 住民によるまちづくりが可能な地域社会の形成について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	② 【移住・定住】 市の魅力発信等による、移住・定住の促進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	③ 【市民協働】 市民と行政などが協働により推進する地域づくりについて	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	④ 【男女共同参画】 男女共同参画意識の醸成と女性の参画推進について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	⑤ 【行財政運営】 市の行財政運営の効率化等について	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

## 問2 今後、さらに推進すべき取り組みについて

設問1 あなたが「産業分野」で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。(複数回答可)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業の担い手確保、育成   | 2. 農業生産基盤の整備      |
| 3. 稲作・畑作等複合経営の推進 | 4. 農産物の6次産業化      |
| 5. 畜産業、林業、水産業の振興 | 6. 地域商業の活性化       |
| 7. 企業誘致の強化       | 8. 中小企業への支援       |
| 9. 若者の起業支援       | 10. 花火産業の振興       |
| 11. 特産品の振興       | 12. 魅力ある観光地づくり    |
| 13. 雇用・就労への支援    | 14. 外国人を含む観光誘客の推進 |
| 15. その他( )       |                   |

**設問2** あなたが「**出会い・結婚・子育て分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 結婚を応援する環境づくり       | 2. 結婚相談会・出会いイベントの開催  |
| 3. 妊娠、出産、育児を応援する環境づくり | 4. 検診相談等の母子保健事業の充実   |
| 5. 妊娠中から切れ目のない子育て支援   | 6. 子育て支援サービスの充実      |
| 7. 保育ニーズ量に対応した受入体制の整備 | 8. 夜間・休日保育の充実        |
| 9. 子育てに関わる経済的負担の軽減    | 10. 放課後児童クラブ・子供教室の充実 |
| 11. 虐待防止対策の実施         | 12. ワーク・ライフ・バランスの推進  |
| 13. その他( )            |                      |

**設問3** あなたが「**健康福祉・スポーツ分野**」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. からだの健康づくりの推進     | 2. こころの健康づくりの推進   |
| 3. 地域医療体制の整備        | 4. 病気予防体制の充実      |
| 5. 地域住民による支え合い体制の構築 | 6. ひとり親家庭への福祉の充実  |
| 7. 地域包括ケアの推進        | 8. 生活支援サービスの充実    |
| 9. 介護サービス基盤等の整備     | 10. 障がい者福祉サービスの充実 |
| 11. 社会保障制度の周知       | 12. 生活保護制度の適正な実施  |
| 13. スポーツ活動への支援      | 14. スポーツ環境の整備     |
| 15. その他( )          |                   |

**設問4** あなたが「環境・安全分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1. 自然環境の保全          | 2. 新エネルギー導入の推進     |
| 3. 交通安全、防犯体制の強化     | 4. 交通弱者への福祉施策の推進   |
| 5. 消費者トラブル対策        | 6. 消防団員の確保         |
| 7. 地域の防災体制の整備       | 8. 水害対策設備の整備       |
| 9. 除排雪体制の充実         | 10. 消融雪施設の整備       |
| 11. 空き家の管理と利活用の推進   | 12. 廃棄物の排出抑制・適正処理  |
| 13. 河川とその周辺環境の保全・整備 | 14. 公園・緑地の整備、緑化の推進 |
| 15. その他( )          |                    |

**設問5** あなたが「都市基盤分野」で、さらに推進すべきであるとする取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 主要道路網・幹線道路の整備促進     | 2. 生活道路の整備        |
| 3. 道路・橋りょうの維持管理        | 4. 駅舎、駐車場の整備・維持管理 |
| 5. 地域や生活の実情に即した公共交通の整備 | 6. 計画的な市街地整備      |
| 7. 住宅環境の整備             | 8. 住宅耐震化率向上の推進    |
| 9. 市内の情報網、通信網の整備       | 10. 地域情報化の推進      |
| 11. 安全で安定した水道水の供給      | 12. 下水道施設の整備      |
| 13. 下水道未普及地区の解消        | 14. 水道事業の適正な実施    |
| 15. その他( )             |                   |



**設問6** あなたが「**教育・交流分野**」で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 生きる力を育む学校教育の推進  | 2. 学校と地域の交流・連携   |
| 3. 家庭教育の推進         | 4. 学校施設の整備       |
| 5. ふるさと教育の推進       | 6. 特別支援教育の充実     |
| 7. 生涯学習支援体制の充実     | 8. 学びを生かす生涯学習の推進 |
| 9. 生涯学習の機会拡大・情報発信  | 10. 芸術、文化活動の振興   |
| 11. 文化財の保護保全・整備と活用 | 12. 非核平和の啓発      |
| 13. 他自治体との連携・交流    | 14. 国際交流の促進      |
| 15. その他( )         |                  |

**設問7** あなたが「**地域活性化・市民との協働・行政運営分野**」で、さらに推進すべきであると考える取り組みはどれですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 地域資源の掘り起こしと活用の推進 | 2. 地域活動の情報発信         |
| 3. 行政への市民参加の機会拡大    | 4. 自治組織づくり、自治会活動への支援 |
| 5. 地域独自の活性化への支援     | 6. 小規模集落・高齢化集落への支援   |
| 7. 移住・定住への支援        | 8. 若者が活躍できる環境づくり     |
| 9. 男女共同参画社会の推進      | 10. 事務組織の見直しと職員資質の向上 |
| 11. 行政情報の提供と公開      | 12. 効果的・効率的な行政運営     |
| 13. 公共施設の見直し        | 14. 公文書館の利用促進        |
| 15. その他( )          |                      |

### 問3 大仙市の住みやすさについて

**設問1** 大仙市は、住みやすいまちだと思いますか。あなたのお考えに一番近いものを選び、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 住みやすい         | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらかといえば住みにくい | 4. 住みにくい         |

**設問2** これからも大仙市に住み続けたいと思いますか。あなたのお考えに一番近いものを選び、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- |                |                     |
|----------------|---------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内の別の場所へ移りたい     |
| 3. 市外に移りたい     | 4. 住み続けたいが、移らざるを得ない |

ここから先は、個別の事業に対する市民の皆さまの評価・要望を伺うアンケート調査です。  
ご自身に直接関係がないと思われる設問もあるかもしれませんが、幅広い市民の皆さまのご意見を伺い今後の事業の参考としますので、可能な限りすべての設問にお答えくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

## テーマ1 市の広報活動について

市では、市民の皆さまに市の施策・事業等に関する情報をお知らせするため、月2回の広報紙「だいせん日和」の発行に加え、ホームページ、SNS、コミュニティFMを活用した情報発信をしています。

本調査は、市民の皆さまに効果的で効率的な広報活動ができるように、見直しを進めていくための参考とさせていただきます。

**問1** 市政や市のイベントに関する情報を何から得ていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- |                          |                            |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 新聞                    | 2. テレビ                     |
| 3. コミュニティFM(FMはなび)       | 4. FMはなび以外のラジオ放送局(NHKなど)   |
| 5. 広報「だいせん日和」            | 6. 大仙市議会広報                 |
| 7. 大仙市ホームページ             | 8. 大仙市ソーシャルメディア(フェイスブックなど) |
| 9. 広報紙以外の印刷物(チラシやポスターなど) | 10. 電照広告や掲示板               |
| 11. 窓口や電話などで直接問い合わせる     | 12. 友人・知人からの口コミ            |
| 13. ソーシャルメディアでの友人・知人の発信  | 14. その他( )                 |

**問2** 市の広報紙「だいせん日和」を読んでいますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| 1. 必ず読んでいる   | 2. 時々読んでいる             |
| 3. あまり読んでいない | 4. まったく読んでいない →次ページ問3へ |

**問2-1** 問2で「1.」「2.」「3.」と答えた、広報紙「だいせん日和」を読んでいる方にお聞きします。紙面構成・内容は分かりやすいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 分かりやすい               | 2. おおむね分かりやすい            |
| 3. 少し分かりにくい<br>(具体的に: ) | 4. とても分かりにくい<br>(具体的に: ) |

**問2-2** 広報紙「だいせん日和」の紙面レイアウト、デザイン、配色、文字の大きさなどは読みやすいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 読みやすい	2. おおむね読みやすい
3. 少し読みにくい (具体的に: )	4. とても読みにくい (具体的に: )

**問3** 現在、「だいせん日和」は毎月1日、16日の月2回(8月と1月は1日のみ)発行しています。発行回数についてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 多い	2. 少ない
3. ちょうどよい	4. わからない

**問4** 広報紙「だいせん日和」のページ数はどう思われますか。1)、2)のそれぞれ、あてはまるもの1つに○をつけてください。

1) 毎月1日発行号 (カラー刷り、平均28ページ)	2) 毎月16日発行号 (黒1色刷り、平均10ページ)
1. 多い	1. 多い
2. 少ない	2. 少ない
3. ちょうどよい	3. ちょうどよい
4. わからない	4. わからない

**問5** ソーシャルメディア(SNS)を利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

1. フェイスブック (Facebook)	2. ツイッター (Twitter)
3. インスタグラム (Instagram)	4. ライン (LINE)
5. その他( )	6. 利用していない

→次ページは テーマ2 「コミュニティFM (FMはなび)」の利用について

## テーマ2 コミュニティFM (FMはなび) の利用について

コミュニティFMとして平成27年に開局したFMはなび(周波数87.3MHz)は、地域密着の情報を発信してまちの賑わいを創出するとともに、災害の時の緊急避難情報や、被害情報を発信する情報発信手段として、市と協力しながら、市の第三セクターである株式会社TMOが運営しています。

本調査は、平常時や、平成29年夏、平成30年5月の大雨の際の利用状況を伺い、放送内容の充実を図るための参考とさせていただきます。

**問1** あなたは、コミュニティFM「FMはなび」を聴いたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 1. よく聴いている  | 2. ときどき聴いている     |
| 3. ほとんど聴かない | 4. 聴いたことがない →問2へ |

**問1-2** 問1で「1.」「2.」「3.」と答えた、FMはなびを聴いたことがある方にお聞きします。普段、FMはなびをどの機器で聴いていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. カーラジオ               | 2. 防災ラジオ(白色の立方体型のラジオ) |
| 3. 小型ラジオ・ラジカセ(防災ラジオ以外) | 4. スマートフォンアプリ         |
| 5. その他( )              |                       |

**問2** 緊急時の避難情報や災害情報はどのようにして入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. テレビ             | 2. 防災ネットだいせん(携帯メール)      |
| 3. コミュニティFM(FMはなび) | 4. FMはなび以外のラジオ放送局(NHKなど) |
| 5. 市のホームページ        | 6. 自治会・自主防災組織等の連絡網       |
| 7. 防災行政無線          | 8. 市の広報車、消防団             |
| 9. 家族からの連絡         | 10. 近所の方等の訪問             |
| 11. SNS( )         | 12. その他( )               |

**問3** 平成29年夏、今年5月の大雨の際には、FMはなびで緊急放送を流しました。その際の緊急放送についてあてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

- |                       |                          |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 聴かなかった             | 2. 放送内容は適切でちょうど良いと思う     |
| 3. アナウンサーの話すスピードが早すぎる | 4. アナウンサーの話すスピードがゆっくりすぎる |
| 5. 音楽は必要なく、アナウンスだけが良い | 6. 音楽は短く、アナウンスが長い方が良い    |
| 7. アナウンスの時間が長すぎる      | 8. 地名がわからない              |
| 9. 用語がわからない           | 10. 緊急の状況が伝わり切れていない      |
| 11. その他( )            |                          |



### テーマ3 「敬老の日事業」について

市では、満76歳以上の方を対象に、長寿をお祝いし敬意と感謝の意を表すとともに、高齢者の交流の場や生きがいくりの場を提供することを目的に、敬老会を開催しています。また、88歳と100歳の方には長寿祝金を贈呈しています。

近年、敬老会は、参加率の低下や、高齢化による対象者の増加により事業経費が増大しているなどの課題が生じています。社会情勢を踏まえつつ、幅広い年代の皆さまにご意見を伺い、今後の事業の見直しを進めていくための参考とさせていただきます。

#### 【敬老会】

対象者	満76歳以上の方
実施地区	15地区（大曲7・神岡1・西仙北2・中仙1・協和1・南外1・仙北1・太田1）
内容	式典、アトラクション（文化団体、地域保育園児の発表等）、祝宴
記念品	対象者全員へ手ぬぐい、傘寿（80歳）の方へ湯飲み

#### 【長寿祝金】

満88歳の方	2万円
満100歳の方	在宅の方：20万円 施設入所の方：10万円

**問1** 近年の敬老会への参加率は、約4分の1となっています。あなたは、どのようなきっかけがあると敬老会に参加すると思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                     |                               |
|---------------------|-------------------------------|
| 1. 魅力的なアトラクション →問2へ | 2. 魅力的な祝宴 →問2へ                |
| 3. 友人・知人の誘い →問2へ    | 4. 関係者(案内を届ける地域の方など)の声かけ →問2へ |
| 5. その他( ) →問2へ      | 6. あまり参加したいと思わない              |

**問1-1** 問1で「6. あまり参加したいと思わない」と答えた方にお聞きします。参加したいと思わない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1. 内容が魅力的でないから          | 2. 友人・知人が参加しないから |
| 3. 参加するための交通手段がないから     | 4. 身体の健康に不安があるから |
| 5. 自分の仲間や家族で集まるだけで十分だから | 6. その他( )        |

**問2** 敬老会では、式典に続き、アトラクションと祝宴が行われます。参加費は無料で、実施費用は市が負担しています。あなたは、敬老会の内容についてどう思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数回答可）

- |                        |                 |
|------------------------|-----------------|
| 1. 現状のままで良い            | 2. 祝宴(飲食)は必要ない  |
| 3. 自己負担があっても飲食があった方が良い | 4. アトラクションは必要ない |
| 5. 式典のみで良い             | 6. わからない        |
| 7. その他( )              |                 |

**問3** 敬老会は、現在、市内15地区毎に実施していますが、地区割りについてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 現状のままで良い          | 2. まとめて実施した方が良い |
| 3. もっと小さい地域で実施した方が良い | 4. どちらでも良い      |
| 5. わからない             |                 |

**問4** 敬老会は、現在、76歳以上の方全員を対象に実施していますが、このことについてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |             |                        |
|-------------|------------------------|
| 1. 現状のままで良い | 2. 喜寿、傘寿、米寿など節目の方だけで良い |
| 3. わからない    | 4. その他( )              |

**問5** 敬老会の記念品として、76歳以上の対象者全員に毎年手ぬぐいなどを、80歳の傘寿となる方には湯飲みなどを贈呈しています。この記念品についてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 現状のままで良い         | 2. 76歳以上の対象者への記念品のみで良い |
| 3. 傘寿(80歳)の記念品のみで良い | 4. どちらも必要ない            |
| 5. その他( )           |                        |

**問6** 市の長寿祝金の額(100歳:20万円(施設入所者は10万円)88歳:2万円)についてどう思われますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 現状のままで良い  | 2. 引き上げた方が良い |
| 3. 引き下げた方が良い | 4. どちらでも良い   |
| 5. 必要ない      | 6. わからない     |
| 7. その他( )    |              |

**問7** 市が行っている敬老の日事業(敬老会・長寿祝金)について、ご意見などをご自由にお書きください。

→次は テーマ4 「住宅リフォーム支援事業」について

## テーマ4 「住宅リフォーム支援事業」について

市では、住宅の居住環境の向上を図るリフォーム工事（修繕は除く）を行う方に対し、補助金を交付しています。

環境対策等工事については、20万円を上限に工事費の10%、それ以外の工事については、30万円を上限に工事費の15%を補助しています。なお、補助上限額に達するまでは、再申請が可能です。（既に工事した箇所については対象になりません）

本調査は、「住宅リフォーム支援事業」が平成21年の事業開始から10年目を迎えることから、今後の事業の方向性を検討するための参考とさせていただきます。

### 【平成30年度 住宅リフォーム支援 事業内容】

<b>①環境対策等工事（1. 環境対策工事、2. 省エネ対策工事、3. バリアフリー化工事）</b> 1. 下水道、農業集落排水又は浄化槽に接続する工事（トイレ等の水廻りの改修工事を含む） 2. 床、壁、窓、屋根等の改修による断熱化工事、太陽光発電設備、又は省エネ型給湯器の設置等 3. 居室、トイレ、浴室等の段差解消工事、便器の洋式化、又は手すり設置工事等	補助率 10% 上限20 万円
<b>②克雪対策化工事</b> 屋根の落雪防止器具や融雪装置設置等、住宅敷地内の消雪・融雪施設工事	補助率 15% 上限30 万円
<b>③耐震化工事</b> 平成12年5月31日以前に建築された木造住宅の改修工事（耐震診断、耐震設計等も含む）	
<b>※子育て世帯改修工事</b> 18歳以下の3人の子と同居している親子世帯が環境対策等工事を行う場合は、補助率15%、上限30万円に拡充	

**問1** 住宅リフォーム支援事業について、ホームページや広報で年2～3回程度お知らせしています。この事業があることを知っていましたか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 利用したことがあり、知っている | 2. 利用したことはないが、知っている |
| 3. 知らなかった →次ページへ   |                     |

**問1-1** 問1で「1.」「2.」と答えた、この事業を「知っている」方にお聞きします。この事業をどのようにして知りましたか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。（複数回答可）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 広報で見た              | 2. 市のホームページで見た       |
| 3. 市のチラシで見た           | 4. 知人・友人から聞いた（業者は除く） |
| 5. 業者から聞いた、業者のチラシ等で見た | 6. その他( )            |



住宅リフォーム支援事業は、平成21年の事業開始から今年度で10年目を迎え、これまでのべ3,500件を超える申請を受け付けています。

県および県内25市町村のうち22市町村においても、住宅改修に対する補助（補助メニューは自治体によって異なります）があり、近年事業内容の見直しや予算の縮小等が行われています。

当市でも、この事業が10年目を迎えることから、今後の方向性について市民の方に広くご意見を伺います。

【参考】

	平成30年度当初予算	10年間の合計
申請件数	約400件	3,558件
補助金	6,000万円	6億370万円
対象工事費	(工事内容によります)	87億2,640万円

※災害に関する補助金は含みません

問2 リフォーム工事に対する市の補助金について、どのようにお考えですか。あてはまるもの1つに○印をつけてください。

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1. 補助金はなくてもよい →最終ページへ | 2. 事業内容を見直した方がよい |
| 3. 継続して実施するべき →最終ページへ | 4. わからない →最終ページへ |

問2-1 問2で「2. 事業内容を見直した方がよい」と答えた方にお聞きします。どのように見直しする方がよいと思われますか。あてはまるものすべてに○印をつけてください。（複数回答可）

- |                    |                          |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 対象工事を増やした方がよい   | 2. 補助要件を緩和した方がよい         |
| 3. 補助率や限度額を上げた方がよい | 4. 補助上限額に達しても再度申請できる方がよい |
| 5. 補助率や限度額を下げた方がよい | 6. 補助要件を厳しくした方がよい        |
| 7. 対象工事を減らした方がよい   | 8. 補助金全体の予算額を縮減した方がよい    |
| 9. その他( )          | 10. わからない                |

アンケートは、あと1ページで終了です

---

---

**■あなたご自身のことについてお伺いします。**

---

---

- ・あなたの性別を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

- ・あなたの年齢を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 18・19歳	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
5. 50～59歳	6. 60～64歳	7. 65～69歳	8. 70～74歳
9. 75～79歳	10. 80歳以上		

- ・あなたの居住地域を、次の中から1つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 大曲地域	2. 神岡地域	3. 西仙北地域	4. 中仙地域
5. 協和地域	6. 南外地域	7. 仙北地域	8. 太田地域

---

---

**■自由意見**

---

---

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入願います。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
---

---

---

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

---

---

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、**6月22日(金)まで**に、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。

大仙市の将来のために  
平成30年度市民による個別事業評価  
「母子保健事業」に関するアンケート  
ご協力をお願い

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市ではこれまで、市政運営を効果的かつ効率的に行うため「市民による市政評価」を実施し、評価結果を施策等に反映するよう努めてまいりました。

今回実施する「市民による個別事業評価」は、「市政評価」では得られない、市で実施する個別の事業に対する具体的な評価・要望を調査し、来年度以降の施策に活用させて頂くものです。

市民の皆さまが日ごろ感じていらっしゃることや、市政に対する要望をお聞きし、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成30年 6月

大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、「母子保健事業」の対象となる、大仙市に住民登録している「0歳児(H29.4.1～H30.3.31生れ)」「1歳児(H28.4.1～H29.3.31生れ)」「2歳児(H27.4.1～H28.3.31)」のお子さんの母親から、無作為に300人を抽出し、調査票をお送りしています。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書き下さい。
- ◆ 回答は、あてはまるところの番号に○印を付けるか、「その他( )」に具体的な内容をご記入ください。

《回答の返送について》

- ◆ ご記入いただいたアンケート用紙は、**6月22日(金)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)
- ◆ アンケート用紙や返信用封筒にお名前をご記入いただく必要はありません。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班  
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119  
メール:sougou@city.daisen.akita.jp

## 調査対象の個別事業：「母子保健事業」について

市では、安心して妊娠・出産・子育てができる体制作りを行うため、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を平成31年度に設置する予定です。

子どもの保護者、特に母親となる方々に求められる事業・サービスを提供できるよう、現在市内にお住まいの0歳から2歳のお子さんをお持ちのお母さんのご意見を伺い、事業の参考とさせていただきます。

### ■ 属性について

問1 あなたのお住まいの地域はどこですか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |         |        |
|---------|--------|
| 1 大曲地域  | 2 神岡地域 |
| 3 西仙北地域 | 4 中仙地域 |
| 5 協和地域  | 6 南外地域 |
| 7 仙北地域  | 8 太田地域 |

問2 あなたの現在の年齢は何歳ですか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 19歳以下  | 2 20～24歳 |
| 3 25～29歳 | 4 30～34歳 |
| 5 35～39歳 | 6 40歳以上  |

問3 対象のお子さん（平成27年4月～平成30年3月生まれのお子さんで、対象が2人以上いる方は一番下のお子さん）は、第何子ですか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |       |         |
|-------|---------|
| 1 第1子 | 2 第2子   |
| 3 第3子 | 4 第4子以降 |

問4 お子さんの祖父母にあたる方のお住まいは、次のどれですか。あてはまるものそれぞれ1つに○を付けて下さい。

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1) 母方の祖父母（あなたの両親）  | 2) 父方の祖父母（夫の両親）    |
| 1 同居               | 1 同居               |
| 2 概ね30分以内で行き来できる範囲 | 2 概ね30分以内で行き来できる範囲 |
| 3 その他              | 3 その他              |

## ■ 妊娠・出産・子育てについて

**問1** あなたが妊娠中、特に困ったことや不安を感じたことを、**最大3つまで**○を付けて下さい。（○は3つまで）

- |                      |  |
|----------------------|--|
| 1 自分の体のこと            | 2 精神的に辛かったこと                           |
| 3 出産への不安があったこと       | 4 出産後の子育てに不安があったこと<br>(子どもを育てる自信がないなど) |
| 5 経済的なこと             | 6 職場の理解に関すること                          |
| 7 赤ちゃんの健康や病気に関すること   | 8 パートナーとの関係に関すること                      |
| 9 困ったことや不安なことは特になかった |  |
| 10 その他 ( )           |  |

**問2** あなたの産後の体調について、あてまるもの**すべてに**○を付けて下さい。  
(複数回答可)

- |                          |                  |
|--------------------------|------------------|
| 1 睡眠が十分にとれなかった           | 2 イライラした         |
| 3 体の疲れがとれなかった            | 4 気がめいった         |
| 5 乳房の状態が良くなかった(乳腺炎などの病気) | 6 産後の回復が遅かった     |
| 7 育児放棄しそうになった            | 8 突然涙が出てくることがあった |
| 9 食欲がなかった                | 10 産後の体調は良好だった   |
| 11 その他 ( )               |                  |

**問3** 育児に関して困ったことや辛かったことはありましたか。あてはまるもの**すべてに**○を付けて下さい。(複数回答可)

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 授乳のこと              | 2 子どもの食事のこと(離乳食、幼児食等) |
| 3 子どもの発育(身長や体重など)のこと | 4 子どもの発達(ことばの遅れなど)のこと |
| 5 兄弟・姉妹のこと           | 6 子どもへの接し方に関すること      |
| 7 家事(掃除、洗濯、料理)に関すること | 8 経済的なこと              |
| 9 仕事と育児の両立のこと        | 10 家族の協力が得られないこと      |
| 11 育児に関して困りごとなどはなかった |                       |
| 12 その他 ( )           |                       |

問4 普段、子育てに関する情報はどこから得ていますか。主に利用しているものを最大3つまで○を付けて下さい。(○は3つまで)

- |                           |                          |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 インターネット情報(パソコンやスマートフォン) | 2 出産・育児に関する雑誌やテレビなどのメディア |
| 3 両親、兄弟姉妹                 | 4 友人、知人                  |
| 5 保育園や幼稚園の保育士、教諭          | 6 市の保健師                  |
| 7 乳幼児健診で配布されるリーフレット類      | 8 市のホームページや広報            |
| 9 その他 ( )                 |                          |

問5 市では、母子健康手帳交付時に保健師による「妊婦健康相談」を実施しています。手帳交付時にこの健康相談を受け、安心感や満足感が得られましたか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 1 十分得られた              | 2 まあまあ得られた  |
| 3 あまり得られなかった          | 4 全く得られなかった |
| 5 大仙市で母子健康手帳を受け取っていない |             |

問6 市では、おおむね生後2ヶ月頃の赤ちゃんがいるご家庭に保健師や助産師が訪問し、健康相談や育児情報を提供する「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を行っています。この訪問によって、安心感や満足感が得られましたか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1 十分得られた     | 2 まあまあ得られた  |
| 3 あまり得られなかった | 4 全く得られなかった |
| 5 訪問を受けてない   |             |

問6-1 「こんにちは赤ちゃん訪問事業」で行うご家庭への訪問の時期は、いつ頃がいいですか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 生後1か月未満 | 2 生後1～2か月 |
| 3 生後2～3か月 | 4 その他( )  |

問7 市が実施している次の事業について、知っていましたか。また、利用したことありますか。今後新たに妊娠、出産した場合、利用したいと思いませんか。あてはまるものそれぞれ1つに○を付けて下さい。

事業名	事業内容	知っていますか	利用したことがありますか	今後利用したいですか
1 パパママ教室	・妊婦とその家族に妊娠生活や子育ての情報を提供する ・参加者同士の交流を図る	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
2 小児科医による育児相談室	・産婦人科医と小児科医の連携による育児相談を行う	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
3 だいせん たまごのお部屋	・助産師を交えて、妊娠期の相談や妊婦同士の交流を図る	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
4 乳幼児健康相談	・保健師、栄養士、保育士による相談支援を行う ・参加者同士の交流を図る	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ
5 離乳食教室	・月齢にあった離乳食の調理実習と試食を行う ・参加者同士の交流を図る	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ	a) はい b) いいえ

問8 産後のサービスとして次のうち利用したいと思うものはありますか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）

- 1 病院や産科医院での個別の相談
- 2 健康増進センターや子育て支援センターでの育児相談
- 3 医師や保健師、助産師等専門職の家庭訪問による育児相談
- 4 病院や産科医院に宿泊し、休養をとりながら育児のアドバイスを受けるサービス
- 5 自宅の家事を手伝ってもらうサービス
- 6 自宅で育児を手伝ってもらうサービス
- 7 乳幼児の一時預かりサービス
- 8 子育て支援アプリ(市の子育て情報や子どもの成長記録、予防接種スケジュールを管理できるアプリ)
- 9 その他( )
- 10 特に利用したいと思うサービスはない

**問9** あなたが市の保健師や栄養士と相談する場合、利用しやすい方法はどれですか。あてはまるもの**すべて**に○を付けて下さい。（複数回答可）

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1 電話による相談   | 2 メールによる相談  |
| 3 来所による相談   | 4 教室等の場での相談 |
| 5 家庭訪問による相談 | 6 その他( )    |

**問10** 市が行っている妊娠、出産、育児に関する事業、サービス、市の保健師へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

## ■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入下さい。

---

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

---

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、**6月22日(金)までに**、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。



大仙市の将来のために  
平成30年度市民による個別事業評価  
「成人保健事業」に関するアンケート  
ご協力のお願い

市民の皆様には、日ごろから市政の推進に対してご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

市ではこれまで、市政運営を効果的かつ効率的に行うため「市民による市政評価」を実施し、評価結果を施策等に反映するよう努めてまいりました。

今回実施する「市民による個別事業評価」は、「市政評価」では得られない、市で実施する個別の事業に対する具体的な評価・要望を調査し、来年度以降の施策に活用させて頂くものです。

市民の皆様が日ごろ感じていらっしゃることや、市政に対する要望をお聞きし、施策の見直しや市民と協働のまちづくりを進めるための大切な基礎資料となります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただきまして、アンケートにお答えくださいますようお願い申し上げます。

平成30年 6月

大仙市長 老松博行

《ご記入にあたって》

- ◆ このアンケートは、「成人保健事業(がん検診)」の対象となる方で、平成27年度および平成28年度において「胃がん検診無料クーポン券」、「大腸がん検診無料クーポン券」を利用した方にお送りしています。
- ◆ ご回答いただいた内容等につきましては、すべて統計的に処理し、個人に関する情報が明らかになることはありません。
- ◆ ご記入いただく際は、黒の筆記用具でわかるようにはっきりとお書き下さい。
- ◆ 回答は、あてはまるところの番号に○印を付けるか、「その他( )」に具体的な内容をご記入ください。

《回答の返送について》

- ◆ ご記入いただいたアンケート用紙は、**6月22日(金)まで**に、同封の返信用封筒に入れてご投函ください。(切手は不要です)
- ◆ アンケート用紙や返信用封筒にお名前をご記入いただく必要はありません。

【このアンケートに関するお問い合わせ先】

大仙市 企画部 総合政策課 政策調整班  
電話:0187-63-1111(内線278) FAX:0187-63-1119  
メール:sougou@city.daisen.akita.jp

## 調査対象の個別事業：「成人保健事業（がん検診）」について

市では、胃がん検診、大腸がん検診の受診率向上を図るため、40代、50代のそれぞれ特定の年齢の市民を対象に、「胃がん検診無料クーポン券」、「大腸がん検診無料クーポン券」を個別に送付しています。

これらの無料クーポン券を送付することで、がん検診のきっかけづくりを行うとともに、その後のがん検診の受診を定着させ、がんの早期発見、早期治療の促進とがんによる死亡者数の減少を図ることを目的としています。

	平成30年度 がん検診無料クーポン券 配布対象者
胃がん検診	本年度中に、40歳、51歳、53歳、55歳、57歳、59歳を迎える方
大腸がん検診	本年度中に、40歳を迎える方

※年度により、対象年齢が異なります

本調査では、平成27年度と平成28年度に胃がん検診または大腸がん検診の無料クーポン券を利用して、いずれかのがん検診を受診した方を対象にその後のがん検診の受診状況等を伺い、今後の事業の参考とさせていただきます。

### ■ 属性について

問1 あなたの住まいの地域はどこですか。あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

- |         |        |
|---------|--------|
| 1 大曲地域  | 2 神岡地域 |
| 3 西仙北地域 | 4 中仙地域 |
| 5 協和地域  | 6 南外地域 |
| 7 仙北地域  | 8 太田地域 |

問2 あなたの性別を選び、番号に○を付けて下さい。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

## ■ がん検診の受診について

問1 あなたは、胃がん検診・大腸がん検診の対象年齢が「40歳以上」と知っていましたか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |                         |              |
|-------------------------|--------------|
| 1 以前から知っていた             | 2 何となくは知っていた |
| 3 がん検診無料クーポン券が届いて初めて知った |              |

問2 平成27年度または平成28年度にあなたに送付した「がん検診無料クーポン券」は、がん検診を受けるきっかけになりましたか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1 受けるつもりはなかったが、無料クーポン券が届いたので受診した |
| 2 受診を迷っていたが、無料クーポン券が届いたので受診した    |
| 3 無料クーポン券がなくても受診する予定だった          |

問3 平成27年度または平成28年度に「がん検診無料クーポン券」を利用してあなたが受診したがん検診はどれですか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 胃がん検診 | 2 大腸がん検診 |
|---------|----------|

問4 あなたは、「がん検診無料クーポン券」で受診したがん検診を、その次の年も受診しましたか。あてはまるものそれぞれ1つに○を付けて下さい。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1) 胃がん検診    | 2) 大腸がん検診   |
| 1 市の検診で受けた  | 1 市の検診で受けた  |
| 2 職場の検診で受けた | 2 職場の検診で受けた |
| 3 医療機関で受けた  | 3 医療機関で受けた  |
| 4 受けていない    | 4 受けていない    |

**問4-1** 無料クーポン券を利用した年以降も継続してがん検診を受診している方にお聞きします。継続してがん検診を受けている理由は何ですか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）

- 1 がん検診は自分の健康管理のために必要だと考えたから
- 2 市のがん検診料金の自己負担額が安いから
- 3 検査の内容が思っていたより楽だったから
- 4 がん検診を受け「異常なし」と安心してから
- 5 検診を受けることへの不安感や抵抗感が薄れたから
- 6 胃腸の調子が悪かったから
- 7 家族に勧められたから
- 8 家族や身近な人でがんにかかった人がいるから
- 9 かかりつけ医に勧められたから
- 10 周囲の人も受けているから
- 11 その他( )

**問4-2** 無料クーポン券を利用した年以降はがん検診を受診していない方にお聞きします。がん検診を受けることが出来なかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○を付けて下さい。（複数回答可）。

- 1 検査が苦痛だったから
- 2 検査後の不快感(下痢や便秘等)があるから
- 3 「異常あり」の結果がでると怖いから
- 4 検診日程に都合がつかなかったから
- 5 仕事が休めなかったから
- 6 検診費用が無料でないから
- 7 個別通知がこなかったから
- 8 がん検診を受けることを忘れたから
- 9 毎年がん検診を受ける必要性を感じないから
- 10 特に体調が悪くないから
- 11 その他( )

**問5** 皆さんにお聞きします。どんな「働きかけ」があれば、がん検診を継続して受けることが出来ると思いますか。受診するきっかけとなる主なものを最大5つに○を付けて下さい。（○は5つまで）

- 1 個人宛にがん検診の通知があれば
- 2 市の検診料金が無料であれば
- 3 休日の検診日が増えれば
- 4 医療機関でも市のがん検診が受けられれば
- 5 職場の検診の項目に盛り込まれていれば
- 6 家族や周囲の人に勧められれば
- 7 かかりつけ医に勧められれば
- 8 周囲の人たちもみんな受けていれば
- 9 広報やFMはなび、テレビCMや新聞広告等でのがん検診のPRやお知らせがあれば
- 10 市のがん検診を継続して受けると特典があれば  
(検診が無料になる、地域商店で使える商品券がもらえる、地域の特産物がもらえる等)
- 11 その他( )

**問6** あなたは、今後も定期的ながん検診を受けようと思いますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う           | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない       |

**問7** あなたは、現在仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |        |         |      |
|--------|---------|------|
| 1 している | 2 していない | →問8へ |
|--------|---------|------|

**問7-1** あなたの職場は、がん検診受診のための休暇取得について理解がありますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 ある         | 2 どちらからといえばある |
| 3 どちらかといえばない | 4 ない          |

問7-2 あなたの職場では、職場の検診として「胃がん検診」「大腸がん検診」が実施されていますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1 どちらも実施されている     | 2 胃がん検診実施のみ実施されている |
| 3 大腸がん検診のみ実施されている | 4 どちらも実施されていない     |
| 5 わからない           |                    |

問7-3 あなたの職場では、がん検診の受診費用の助成はありますか。あてはまるもの1つに○を付けて下さい。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 全額助成あり | 2 一部助成あり |
| 3 助成なし   | 4 わからない  |

問8 市が行っている「がん対策」へのご意見やご要望がありましたらご記入ください。

## ■ 自由意見

今回のアンケートの内容に関わらず、市政に関してご意見・ご提案などがありましたら、ご記入下さい。

以上で、アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたこの冊子は、同封の返信用封筒に入れ、6月22日(金)までに、切手を貼らずに、ご投函くださいますようお願いいたします。